

No. 0016

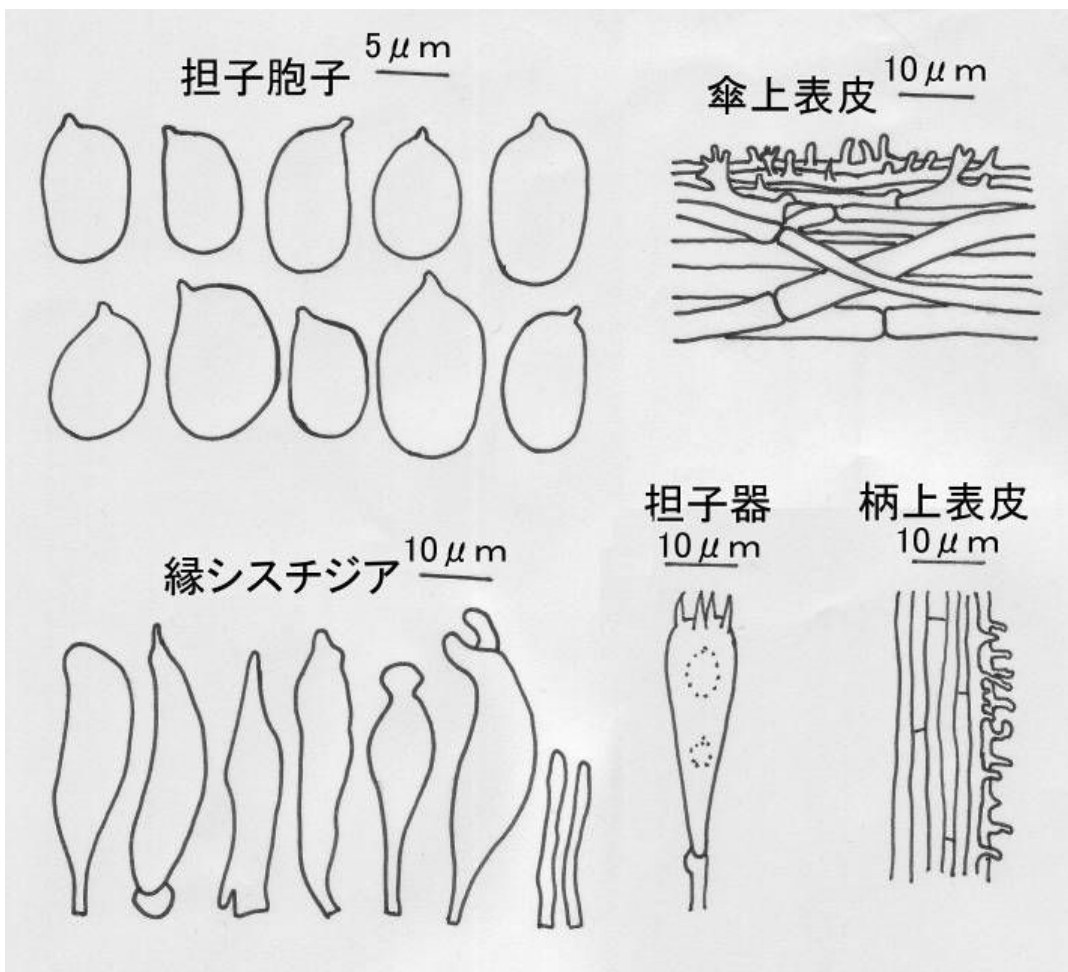
アクニオイタケ

Mycena stipata Maas Geest. & Schwobel









- 傘は径 1.0-1.7cm, 円錐形～釣鐘形, 多数の個体で中心には乳首状突起がある;表面は平滑, 粘性はなく, 条線は傘の中心付近まであり, 縁はやや微鋸歯状, はじめは暗褐色でしばしば白いかすり状のものがあり, 成長すると色あせて黄土色となる.
- 肉は厚さ 1.5-2.0cm, 傘・柄ともに表面と同色で乾けばほぼ白色, 質はやや脆く, 特別な味はないがわずかに異臭がする.
- 柄は 3-5×0.10-0.25cm, 上下同径で曲がるものも多く, 中心性, 中空;表面は平滑, 傘と同色かやや淡く, 白い微粉状のものがあり, 基部には白い菌糸束がある.
- ヒダはやや疎, 直生, 幅 1.0-3.0mm, 淡灰色で縁は白色, 小ヒダがあり, 全縁.
- 胞子紋は白色.
- 胞子は楕円形～広い楕円形, 大きき 9-13×6-8 μ m, Q比 1.3-1.9, 無色, アミロイド.
- 担子器は棍棒形, 大きき 37.5-42×8-10 μ m, 4胞子性, 基部にクランプがある.
- 子実層托実質は並列型, 偽アミロイド, 菌糸の大きき 10-25 μ m, クランプは見つからない.
- 縁シスチジアは群生し, 円柱形～棍棒形～紡錘形, とくに先端は急に細くなるもの, 分枝するもの, 球状となるものや凸凹しているものもあり, 大きき 25-45×2.5-12.5 μ m.
- 側シスチジアは見つからない.
- 傘上表皮は平行菌糸被で, 菌糸の太さ 2.0-2.5 μ m, 表面の菌糸は疣状～短指状のときに分枝する突起物が存在し, クランプはある.
- 傘実質は偽アミロイド.
- 柄上表皮は平行菌糸被で, 菌糸の太さ 2.0-2.5 μ m, 傘と同様で表面の菌糸は疣状～短指状のときに分枝する突起物が存在し, クランプは見つからない.

採集日 2007年03月29日, 2007年04月10日

採集場所 神戸市北区山田町

採集環境 アカマツの腐朽木上

採集者 幸徳伸也

同定者 幸徳伸也

標本番号 なし